

日本共産党の竹田えつ子です

こんにちははニュース 議会報告

No.184 2022年6月第2週



くらしのご相談事
いつでもお声かけ
ください。

来春の市議会議員選挙の 定数は24人に

6月2日(木)一般質問
終了後、鴻巣市議会議員
定数条例の一部を改正す
る条例が出され、賛成多
数(鴻巣会・このす自民
・公明党・かいえんたい)
で可決し、市議会議員定
数は24人になりました。

市民の声を届け、市政
のチェック役の議員の
役割は大事と主張

日本共産党は、地方分

6月議会より

正副議長選挙 行われる

市議会議員定数条例の
一部を改正する条例改正
の採決後、突然議長が辞
職願を提出、その後正副

議長選挙が行われ、新
議長に野本恵司氏、副
議長に永沼博昭氏が選出
されました。これらに
伴う役職の変更が行われ、
6月2日の議会は23時25
分に閉会しました。

は執行機関として多数の
権限をもっており、この
権限が市民の利益につな
がる必要があるとあり、

市役所・支所・公民館 ・学校は遊休資産??

「デジタル田園都市国
家構想推進交付金事業」
が計上された一般会計補
正予算について、6月1
日(水)政策総務常任委員
会で審議しました。国か
らの交付金は、1469
万5000円です。審議

市政のチェック役として
の議員定数を減らすこと
に反対しました。賛成討
論はありませんでした。

の過程で、鴻巣市は「公
共施設のデジタルデータ
実装による施設安全対策
強化及び民間活力による
遊休資産活用提案誘発事
業」として交付金申請し
ていたことが明らかにな
りました。

何故市役所・支所・公
民館・学校は遊休資産な
のか質したところ、民間
の提案で庁舎の空きスペ
ースを利用してコンビニ
を運営している事例もあ
ると答弁しました。市役

4回目ワクチン接種について

6月20日から、60歳以上で3回目接
種後5ヶ月経過した方に順次4回目の
ワクチン接種券が発送されます。予約
のサポートの必要な方は竹田迄お声か
けください。公民館でもサポートがあ
ります。

梅村さえこ



参議院埼玉選挙区(予)
候補の活動より

参院埼玉選挙区は、4議席
を主要7政党(推薦含む)が
争う大激戦の様相です。

埼玉県日本共産党は、比
例50万票・15%以上を獲得
し、梅村さえこ氏(57)の議
席を何としても勝ち取ろうと
奮闘しています。

事業の委託先は包括施 設管理業務委託をして いるJ.M・FBS・前 田共同事業体に

庁舎・公民館・学校等
30施設をドローンを活用
して屋根壁面点検調査、

3次元図面作成は、包括
施設管理業務委託のプレ
ゼン過程で提案された事
業であり、J.M・FBS・
前田共同事業体に293
9万円で委託される予定
であることも審議の過程
で明らかになりました。

日本共産党は、「食
料危機が迫る中、食料
自給率向上のための施
策を強化することを求

める意見書」を提出、
6月10日の本会議で審
議されます。(意見書
裏面掲載)



——6月議会に、日本共産党が提出した意見書——

食料危機が迫る中、食料自給率向上のための施策を強化することを求める意見書

新型コロナウイルス感染症、ウクライナ情勢、原油高などにより、世界の食料品価格が高騰しています。国連が「第2次大戦以来の食糧危機」と警鐘を乱打するほどです。これからも気候危機などで農業生産は不安定で、世界の食料危機の長期化が懸念されています。日本の食料自給率は過去最低の37%であり、食の海外依存の危うさは、いよいよ明らかです。

肥料、燃料、飼料も軒並み高騰しています。米価など農産物価格が低迷する中、多くの農業経営者が窮地に陥っています。

農業は、国民の命と国土を守る土台です。農業を国の基幹産業と位置付け、農家の経営が成り立ち、後継者が希望を持てるように支援することが求められています。EU 諸国は、手厚い保護で農業をしっかり守り、食料自給率を向上させています。

日本には豊かな自然条件、高い経済力や農業技術など農業を多面的に発展させる条件があります。いま日本に求められるのは、農業経営への価格保障・所得補償などの支援を抜本的に強め、カロリーベースで45%を早期に達成し、更に自給率を50%へと高めていくことです。

よって政府においては、食料危機が迫る中、食料自給率向上のための施策をしっかりと実行していくことを強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

—少人数学級・小規模校ほど、学習意欲や態度が積極的、人格形成・人間的成長にとって効果的—
「学校統廃合と小中一貫教育を考える」学習・交流会に参加して



6月5日(日)吹上生涯学習センターで「鴻巣の教育を考える会」主催の学習・交流会に参加しました。当日は60人近くの方が参加。「適正規模・適正配置」の名で鴻巣市は、複数クラスでない小規模学校の統廃合を進めていますが、大規模で複数クラスが良いとの教育的実証は何もないこと、むしろ小さな学校・小さなクラスほど、学習意欲や態度が積極的になり、子ども達の人格形成・人間的成長にとって効果的であると実証されていることがよくわかりました。

「精神科医のおはなしと 優しいトイピアノのひびき」で癒されました

6月4日(土)クリアこうのす小ホールで開かれた、精神科医高木俊介医師の「障害を抱える人たちと、共に暮らす地域とは」の講演会、畑奉枝さんの「兄と共に歩んだ道、そしてこれから」のお話とトイピアノの演奏会を視聴しました。

高木医師のお話で、日本は国策として隔離する精神科の病院を多くつくってきたことを初めて知りました。「大切なのは安心、自由、人との絆」であり、生活の場で支援し、お互いに理解しあえる環境をつくっていくことの大切さを改めて感じました。

畑さんのトイピアノの演奏

